



サーマルリカバリープラント

- 本社所在地：新潟県新潟市北区石動一丁目15番地4
- 事業概要：一般廃棄物処理業、産業廃棄物の収集運搬・処理業、下水道メンテナンス事業、ビルメンテナンス事業
- 常時使用する従業員：82名（2026年5月時点）
- 現在の売上高：13.8億円（2025年7月期）
- 法人番号：3110001007708
- Web：https://www.ibis-giken.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
善宝 恒河

我々は、地球環境の保全に尽力しつつ、社会に貢献し、全社員の物心両面の幸福を追求する。

我々は、地球環境の保全に尽力し、社会に貢献し、全社員の物心両面の幸福を追求することを理念に、廃棄物処理、下水道メンテナンス、ビルメンテナンスを通じて、地域の生活環境と社会インフラを支えてまいりました。今後は、設備投資、AI・IoTの活用、人材育成、M&Aによる広域展開を進め、社員の成長、地域雇用の創出、持続可能な環境インフラの構築を実現し、2035年に売上高100億円を達成します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は、現在売上高15億円の事業基盤をもとに、2035年に売上高100億円を達成します。既存事業である一般廃棄物処理、産業廃棄物処理、下水道メンテナンス、ビルメンテナンスの収益基盤を強化するとともに、管路更生工事、汚泥リサイクル、処理施設・特殊車両への投資、AI・IoTを活用した環境インフラDX、M&A・事業承継による広域展開を推進します。

課題

主な課題は、専門人材の確保・育成、生産性向上と省人化、処理能力及び営業エリアの拡大、環境価値の創出です。採用・教育制度の強化、資格取得支援、設備投資、業務のデジタル化、同業・隣接業種との連携及びM&Aを通じて、持続的な成長基盤を構築します。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

下水道メンテナンス及び管路更生工事では、管路調査、清掃、補修、更生工事までを一体的に提供できる体制を強化し、老朽化インフラの長寿命化・耐震化需要を取り込みます。産業廃棄物処理・汚泥リサイクル事業では、特殊車両、処理施設、リサイクル設備への投資を進め、収集運搬から中間処理、再資源化までの一貫体制を強化します。また、AI・IoTを活用した配車管理、作業記録、処理記録、設備管理のデジタル化により、省人化と生産性向上を実現します。あわせて、M&A・事業承継、人材採用・育成を推進し、広域展開と成長基盤の強化を図ります。

実施体制

代表取締役を責任者とする成長戦略推進体制を構築し、事業部門、現場部門、管理部門、DX・新規事業推進部門が連携して取り組みます。また、金融機関、行政機関、設備メーカー、AI・IoT関連企業、大学・研究機関、土業、M&Aアドバイザー等の外部リソースを活用し、設備投資、人材確保、技術導入、M&Aを一体的に推進します。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円達成に向けた成長ロードマップ

当社は、既存事業の収益基盤強化に加え、管路更生工事、汚泥リサイクル、環境インフラDX、M&A・事業承継を成長ドライバーとして、2035年に売上高100億円を達成します。

売上成長イメージ

現在13.8億円、2027年22億円、2029年35億円、2031年50億円、2033年70億円、2035年100億円

事業別成長方針

- 一般廃棄物処理・産業廃棄物処理：処理能力向上、資源循環、汚泥リサイクルの高度化
- 下水道メンテナンス・管路更生工事：老朽化インフラの長寿命化・耐震化需要への対応
- ビルメンテナンス：施設管理、清掃、設備管理との複合提案
- DX・AI活用：配車、作業記録、処理記録、設備管理、選別工程の省人化
- M&A・事業承継：地域の環境インフラを守る広域展開

売上高

